

令和4年度 国立研究開発法人 建築研究所講演会

特別
講演

カーボンニュートラル・ウェルネス 建築推進のためのエビデンス

建築研究所講演会は、年に一度、建築研究所の研究開発成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しています。

プログラム	
13:00	開会
13:05	理事長挨拶 理事長 澤地 孝男
13:10	講演1 人間活動が常時微動に及ぼす影響の検証 ～「ステイホーム」で首都圏は静かになったのか～ 国際地震工学センター 主任研究員 林田 拓己
13:35	講演2 地震時における鉄骨造建築物の損傷検知手法の 開発 構造研究グループ 研究員 長谷川 隆
14:00	講演3 水害リスクを踏まえたまちづくりについて 研究専門役 木内 望
14:25	休憩 パネル展示
14:40	講演4 木質内装仕上の防火対策に関する近年の取り組み 防火研究グループ 主任研究員 野秋 政希
15:05	講演5 木造建築物の中高層化等技術に関する研究開発 材料研究グループ 上席研究員 槌本 敬大
15:30	講演6 BIMと最近の社会実装への取り組み 建築生産研究グループ 上席研究員 武藤 正樹
15:55	講演7 多様な住宅空調設備を評価するための暖冷房負荷 計算の開発 環境研究グループ 主任研究員 三浦 尚志
16:20	休憩 パネル展示
16:40	特別講演 カarbonニュートラル・ウェルネス 建築推進のためのエビデンス 慶応義塾大学教授 伊香賀 俊治
17:40	終了予定



慶応義塾大学教授
伊香賀 俊治

早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了。(株)日建設計、東京大学助教授を経て2006年より現職。
専門分野は建築・都市環境工学。博士(工学)。
日本学術会議連携会員、日本LCA学会副会長、日本建築学会 学術理事、空気調和・衛生工学会技術理事などを歴任。
共著に、「CASBEE入門」、「建築と知的生産性」、「健康維持増進住宅のすすめ」、「LCCM住宅の設計手法」、「熱中症の予防と現状」、「最高の環境建築をつくる方法」、「すこやかに住もう、すこやかに生きる、ゆすはら健康長寿の里づくりプロジェクト」ほか多数。

日時

令和5年2月22日(水)

開場: 12時00分 / 開会: 13時00分

会場

つくばカピオホール

茨城県つくば市竹園1丁目10-1 1階

参加無料

要事前登録・座席自由

ライブ配信も予定



主催・問い合わせ先
国立研究開発法人 建築研究所
企画部企画調査課
TEL.029-879-0638
<https://www.kenken.go.jp>



申込期限 令和5年 2月15日(水) 17時

左記のQRコードよりお申し込みください。
定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。
予めご了承ください。